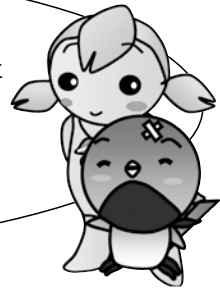


市民協働

3



ブーナンおじいさん



さくらちゃん ルリルリ

南丹市の「市民協働」をテーマに、昨年9月から7回にわたるワークショップや話し合いを進めてきた「市民と共に担うまちづくり手法検討委員会」。
その中で見えてきた、市民協働を進めていく上での課題や解決策について、中間まとめを報告します。

※さくらちゃん、ブーナンおじいさん、ルリルリは、南丹市の花(さくら)・木(ぶな)・鳥(オオルリ)をイメージしたキャラクターです。

ブーナンおじいさん さてさて、

前回は、南丹市の「ええとこ」
「あかんとこ」について話をしたが、そこから見えてきた南丹市の課題について、今日は話をしようかな。

ルリルリ 課題って、宿題のこと？

ブーナンおじいさん ひとつずつ解決していかねばならない問題じゃから、南丹市民みんなの宿題みたいなもんじゃの。

さくらちゃん どんな宿題かしら？私、問題解くのは得意よ。

ブーナンおじいさん 算数なんかの宿題みたいに、答えは必ずしも一つではないし、解き方も一通りではないから、どうすれば一番良いのか、みんなで考えることが大事なんじゃないよ。

ルリルリ 早く知りたいルリ！

ブーナンおじいさん こらこら、あせりは禁物じゃ。では、検討委員会でもとめられた南丹市の課題を見てみようかの(下文)。広い分野において厳しく分析されておるぞ。まずは、現状をしっかりと把握することから始まるからの。

南丹市の現状(課題)

南丹市は農林商工業に加え、観光産業などが盛んで、自然豊かな田園都市として合併以降も着実な発展を続けています。

しかしながら、健全とはいえない財政状況や人口の減少、著しい高齢化など課題も山積みです。

子育て支援施策は全国的に見ても比較的水準が高く、子育てのしやすい環境にありながらも、住居の不足や雇用の不足などにより、子育て家庭が住みやすいまちにはなっておらず、そのほかの福祉施策も一定水準には達しているものの十分とはいえません。医療格差や交通格差も深刻で、広大な市域において、その格差を解消する有効な手段が求められています。

また、京野菜などの一大産地でありながら、耕作の放棄などによる農地の荒廃や山林の荒廃も著しく、田園風景や里山の景観を損ねるなど南丹市の価値についても影響を及ぼしています。自然環境は恵まれているとはいえないものの、実際には緩やかに環境破壊が進んでおり、昔の環境とは大きく変化し

てきていることも事実です。

市民の意識については、地域ごとに大きな差があり、自らの地域課題は自らで考えて解決へと導くといった自立を目指す地域もある中で、依存心が強い地域や地域コミュニティの崩壊寸前どころもあり、住民の無関心さなども目立ってきています。また、閉鎖的・封建的な部分が目立ち、新たな取り組みを受け入れる柔軟性に乏しい一面もあります。

情報については、伝達手段は整備されているものの、市民の求める情報が伝わりにくい現状があります。そのうえ情報提供窓口が分かりにくいなどの構造的な問題もあり、有益な情報や制度が活用できていない状況です。市民のニーズや取り巻く環境が刻々と移り変わる中、課題も多岐にわたり、複雑化して増えつつあるのが現状です。

これらの課題は、行政が解決する公共的な課題(行政が行うべきこと)や、行政だけでは解決が困難な公共的な課題(市民が行うべきこと、市民と行政が協力して行うべきこと)などさまざまです。